北広島市自然の森キャンプ場条例の廃止について

経済部　観光振興課

キャンプ場開設の経緯と現状

開設の経緯と現状

この施設は、平成9年に広済堂札幌カントリー倶楽部（現札幌リージェントゴルフ倶楽部）から**市民還元施設として造成寄贈**されたもので、自然を楽しむことができるレクリエーション施設として、これまで市内外問わず多く利用されてきた。

しかし、令和元年度をピークに**利用者が減少**しており、また、**施設の経年劣化**も顕在化してきており、**魅力度の向上などが課題**となっている状況である。

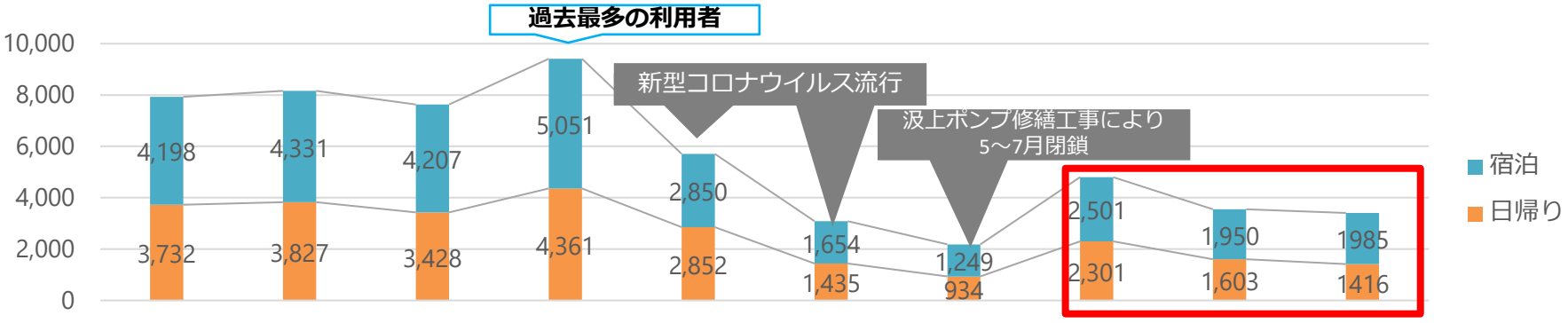
施設概要

名　　称：北広島市自然の森キャンプ場
所在地：北広島市島松577-1（敷地面積：10,869㎡）
建築年：平成9年（築29年）
構　　造：木造1階建て、延床106㎡
運営形態：指定管理（林興産株式会社　令和6～8年度）
開設期間：5月1日～9月30日
（5月:土日・祝のみ、6月:金土日のみ、7月以降:毎日）
利用料金：一般　1人につき1泊400円
小中高校生・65歳以上　1人につき1泊200円
未就学児、障がい者およびその介助者　無料
※日帰り利用は上記金額の半額

利用者の実績

The Ambitious City
―大志をいだくまち― HOKKAIDO 北広島市

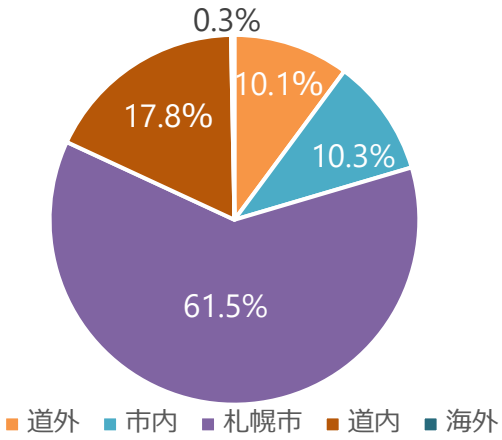
自然の森キャンプ場利用者推移



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
合計	7,930	8,158	7,635	9,412	5,702	3,089	2,183	4,802	3,553	3,401

新型コロナ流行前と比較し、利用者は半分ほどに減少している。

令和7年度利用居住地内訳



区域	割合	人数
道外	10.1%	345
市内	10.3%	350
札幌市	**61.5%**	2,090
道内	17.8%	606
海外	0.3%	10
	100%	**3,401**

※道内のうち、北広島市近隣（恵庭市、江別市、千歳市、石狩市）は212人

近年、**観光的な利用がメイン**のため、**市民利用が１割程度**となっている状況

利用者アンケートの調査結果

The Ambitious City
―大志をいだくまち― HOKKAIDO 北広島市

・実施期間：令和7年7月～8月
・対　　象：当該キャンプ場利用者
・回 答 数 ：146件
・質問項目：施設の満足度、使用料に関することなど

現地での聞き取り調査の様子

【満足度】

・総合満足度：89.7%(「満足」+「やや満足」)
・**主な評価点**：**使用料の安さ**、自然環境、アクセスの良さ
・主な不満点：衛生環境（特にトイレ）、**施設の老朽化**、
予約の利便性の悪さ

【使用料に関する意識】

・**値上げ許容額**
+500円までが多数

値上げ許容額	割合	回答数
+500円まで	**57.5%**	84
+1,000円まで	26.7%	39
+2,000円まで	1.4%	2
値上げされたら利用しない	7.5%	11
未回答	6.9%	10
合計	**100%**	**146**

施設維持コストの試算

The Ambitious City
一大志をいだくまち一 HOKKAIDO 北広島市

①経常的コスト ―― **令和7年度：3,729千円**（指定管理料、受水槽清掃費、火災保険料）

②施設修繕コスト ―― **年間1,440千円**（過去の木造物件の中規模改修費を参考に試算し按分）

③運営維持コスト　①+②＝ **年間：5,169千円**

約6.4倍の差

使用料収入(令和７年度)　**年間：　802千円**

料金：一般宿泊400円、日帰200円

使用料で運営維持コストを賄うには、**約6.4倍の値上げ**が必要となる。

- **宿 泊：400円　⇒　2,560円/人**（+2,160円）
- **日帰り：200円　⇒　1,280円/人**（+1,080円）

※「現在の利用者数／減免割合は変えない」前提での試算

課題と今後の在り方の検討経過

The Ambitious City
―大志をいだくまち― HOKKAIDO 北広島市

課題

1. **利用者**が**減少傾向**にあり、ピーク時から半減
   - 近隣に魅力的なキャンプ施設も開設
2. **維持コスト**の**増加**
   - 施設老朽化による維持管理コストの増加
   - **単純な使用料の値上げ**は、**利用者ニーズ**と**合わなくなる**
3. **市民還元施設 ⇒ 観光施設へ**の変遷
   - 市外利用者が約９割
   - 観光施設としての**魅力度向上**には、**更なる投資が必要**となる

上記の課題を踏まえ、自然の森キャンプ場の今後の在り方について、利用者、地域住民、民間事業者、市議会、都市型観光推進協議会との意見交換を実施し、検討を進めてきた。

検討経過

年	月	内容
R7	7月～8月	・利用者アンケート調査実施
	12月	・市議会の建設文教常任委員会で課題について報告 ・地域住民や民間事業者と意見交換
R8	1月	・サウンディング型市場調査　実施（2社）
	3月	・市議会の建設文教常任委員会でサウンディング型市場調査の結果報告 ・都市型観光推進協議会にて意見交換
	～8月	・地域住民や民間事業者と協議

検討内容と今後の方針

The Ambitious City
―大志をいだくまち― HOKKAIDO 北広島市

検討内容

1. 地域住民との意見交換の結果、自然環境の保全や地域活性化の観点から、この土地が**キャンプ場として継続利用**されることを希望。
   また、仮にこの土地を民間事業者に売却した場合に、土地の転売等により、望まない土地利用を防ぐ観点から、**市が土地を所有したまま**民間事業者に貸す手法での**民営化を検討**する方向が望ましい（都市型観光推進協議会でも同様の意見）。

2. 魅力度向上には、**民間事業者の自主運営**によるノウハウ活用が有効。

3. サウンディング型市場調査や民間事業者との意見交換の結果、民営化に係る**参入意向**を持っている**民間事業者は存在**している状況。
   また、このキャンプ場が市民還元施設として開設した経緯に鑑み、仮に民営化した場合でも、**市民への還元措置**を民間事業者において**検討されている**ところ。

今後の方針

・**キャンプ場を民営化**することにより、**魅力度向上や地域活性化を推進**

・**土地と現在の建物**は、**市が所有**したまま民営化（貸付契約）
　→**キャンプ場として維持しつつ、魅力度向上へ**

想定スケジュール

【令和８年】

１０月　パブリックコメントの実施

１２月　第４回市議会定例会で民営化に係る自然の森キャンプ場条例の廃止提案

【令和９年】

１～２月　民営化に係る民間事業者の公募開始

２～３月　民営化に係る民間事業者の審査・選定

準備が整い次第、営業開始

→施設改修の提案があった場合は、営業開始が遅れる可能性あり